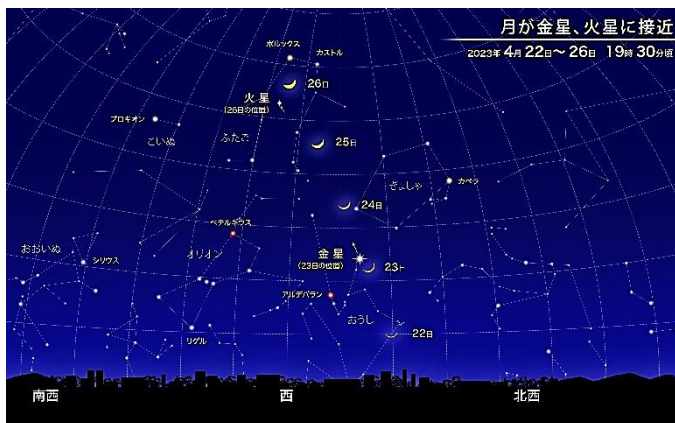


日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1 ★★
<small>※過去10年間の富山市の午後9時の晴天率 ★★: 60%以上 ★: 40~50%</small>						
2 ★★	3 日の出 5:35 日の入 18:15	4 ★	5 せいめい 清明	6	7	8 ★
← 夜、満月を 満月 見よう →						
9 ★★	10 ★ 日の出 5:25 日の入 18:21	11	12 ★★	13 ★	14	15 ★
← 朝、西の空の 下弦 月を見よう →						
16 ★★	17 ★ 春の土用の入り 日の出 5:16 日の入 18:27	18 ★	19 ★★	20 ★ こくう 穀雨	21 ★	22 ★★
← 夕方、西の空の月を見よう 三日月 →						
23 こと座流星群	24 ★ 日の出 5:07 日の入 18:33	25 ★★	26 ★	27 ★★	28 ★★	29 ★ 昭和の日
← 夕方、南の空の 上弦 月を見よう →						
30 ★	1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6

今月のトピックス1

■月が金星、火星に接近

4月になり夕方の西の空で金星の高度が高くなってきました。23日には、月齢3の細い月が金星に近づいて見えます。3日後の26日には、月が火星に近づきます。火星は金星に比べると100倍以上暗い惑星ですが赤っぽく輝く色は特徴的で、明るい月のそばでもすぐに探せそうです。



©国立天文台

今月のトピックス2

■こと座流星群極大…4月23日(日)

夏の代表星座の一つ、こと座は4月の下旬近くになると夜半前の北東の空高く昇るようになります。そのこと座の織女星ベガの近くに輻射をもつ「4月こと座流星群」が4月23日の午前10時頃ピークになると予想されています。月が無く好条件で見られるので、特に夜明け前のころ注目してみてください。



4月23日午前2時の空

ステラシアターに一部加筆

日	月	火	水	木	金	土
30	1 ☆	2 ☆☆ はちじゅうはちや 八十八夜 日の出 4:57 日の入 18:40	3 ☆☆ 憲法記念日	4 ☆☆ みどりの日	5 ☆☆ こどもの日	6 ☆ 立夏 半影月食 夜、満月を見よう 満月
7 ☆☆ みずがめ座η流星群 夜、満月を見よう	8 ☆	9 ☆	10 ☆	11 ☆	12 ☆	13 ☆☆ 朝、西の空の下弦月を見よう
14 ☆	15 ☆	16 ☆ 日の出 4:44 日の入 18:52	17 ☆	18 ☆	19 ☆	20 新月
21 ☆☆ しょうまん 小満 夕方、西の空の三日月を見よう	22 ☆☆	23 ☆☆	24 ☆☆ 日の出 4:38 日の入 18:58	25 ☆☆	26 ☆	27 ☆ 夕方、南の空の月を見よう
28 ☆ 夕方、上弦南の空の月を見よう	29 ☆☆	30 ☆☆ 日の出 4:35 日の入 19:03	31	1	2	3

※過去 10 年間の富山市の午後9時の晴天率
 ☆☆: 60%以上 ☆: 40~50%

★ 夜空をながめてみよう ★

■北の空を見よう！

宵の北の空高く7個の明るい星がひしゃくをひっくり返したような形に並んでいるのが目にとまります。おなじみの北斗七星です。真ん中の星が3等星でやや暗いほかはみな2等星なので、夜空の明るい場所でもすぐにそれと分かります。一方、もう一つの北極星と見付ける目印のカシオペア座のW字形は、北の地平線低く下がってしまっています。



5月15日午後8時の空 ステラシアターに一部加筆

今月のトピックス

■半影月食・・・5月6日(土) 食の最大 午前2時22分頃

6日を迎えた深夜に半影月食が起きます。半影月食とは、月が地球の半影と呼ばれる薄い影に入った時の月食でぼんやりと影になる月食です。「影」とは、太陽の光を浴びた地球が、太陽と反対側の宇宙に落としていく影のことです。この日の満月は、本影近くまで入り込んで通過するので、満月の北より側が少し薄暗くなっているのが肉眼でも分かります。

■みずがめ座^{エータ}流星群・・・5月7日(日)

みずがめ座は、秋の宵の南の空で見頃になる星座ですが、5月の初旬になると早くも夜明け前の南東天低く姿を見せるようになります。そのみずがめ座に輻射点のある「みずがめ座η流星群」が7日の午前0時頃ピークになると予想されています。



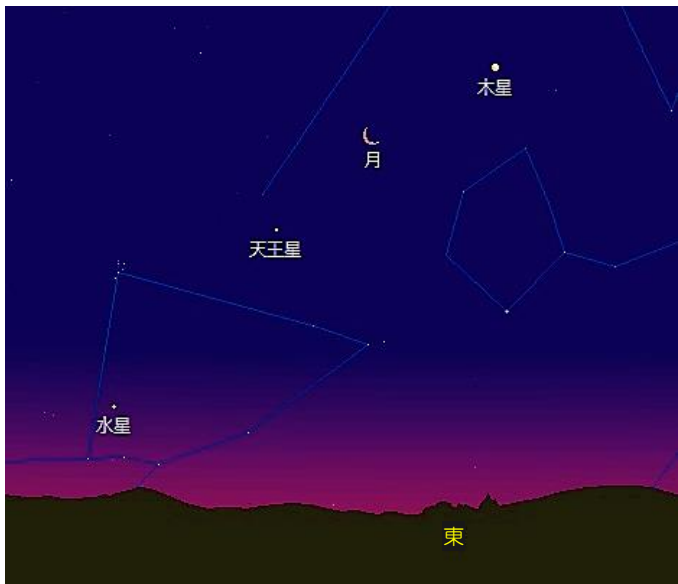
5月7日午前3時の空 ステラシアターに一部加筆

日	月	火	水	木	金	土
28 ※過去10年間の富山市の午後9時の晴天率 ★★: 60%以上 ☆: 40~50%	29	30	31	1 ★★	2 ★★	3 ★ 夜、満月を見よう
4 夜、満月	5 ☆ 満月を見よう	6 ☆ ぼうしゅ 芒種	7 日の出 4:32 日の入 19:08	8 ☆	9 ☆	10 ☆ 朝、西の空の月を見よう
11 にゅうばい 入梅 朝、下弦	12 ☆ 西の空の月を見よう	13	14 日の出 4:32 日の入 19:11	15	16	17 ★★
18 新月	19	20 ☆	21 げし 夏至 夕方、西の空の三日月	22 日の出 4:33 日の入 19:13	23	24 ★★ 月を見よう
25	26 ☆	27	28 日の出 4:35 日の入 19:14	29	30	1 夕方、南の空の上弦 月を見よう

★ 夜空をながめてみよう ★

■ にぎやかな明けの東天

6月21日は、夏至なので富山の日の出の時刻は、午前4時33分と早く薄明かりの始まりも早いです。夜明けの前の東天には惑星たちがずらり一列に並んでとてもにぎやかな光景となっています。14日~16日には、さらにこれに細い月も加わってきますので、早起きしてそのにぎやかさを楽しむことができます。



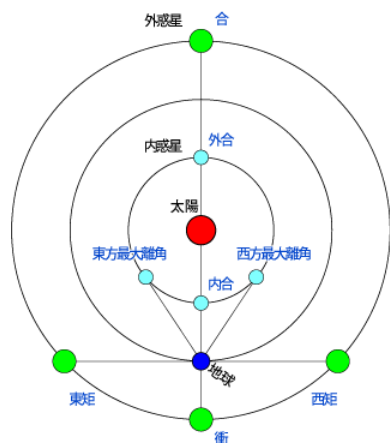
6月15日午前4時頃の空 ステラシアターに一部加筆

今月のトピックス

■ 金星が東方最大離角・・・6月4日(日)

金星は、4日に東方最大離角となり、宵の明星となって夕方の西天で目を引くようになります。では、「東方最大離角」はどのような意味なのでしょう。東方最大離角とは、金星が見かけ上、太陽から東に向かって最も離れることを言います。このとき、金星は宵の明星として日の入り後の西の空に見えます。図のように地球の外側を公転する惑星を緑色（火星や木星、土星等）、地球の内側を公転する惑星を水色（水星と金星）で表すと、いくつかの特徴的な場所に名前が付いています。

例えば、木星が衝の位置に来た時は地球と最も近くなるので、見やすくなります。しかし、金星が内合の時には太陽の光によって見ることはできません。金星が最も見やすくなるのは、図の東方最大離角と西方最大離角の時なのです。宇宙での位置を想像しながら観察してください。



©国立天文台

とやま天文カレンダー

2023年

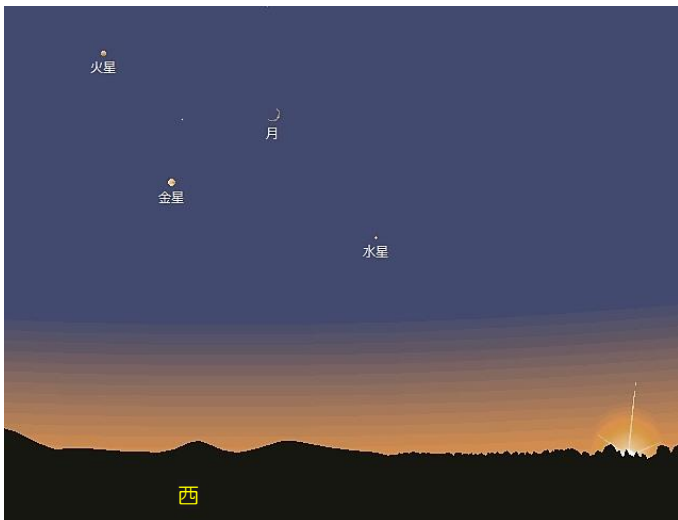
7月

日	月	火	水	木	金	土
25 ※過去10年間の富山市の午後9時の晴天率 ★★: 60%以上 ☆: 40~50%	26	27	28	29	30	1 ☆
2 ☆ はんげしょう 半夏生	3	4	5	6	7 ☆ しょうしょ たなばた 小暑 七夕 日の出 4:39 日の入 19:13	8 ☆
9 ☆	10 ★★	11 ☆	12	13	14	15
16	17 海の日	18	19 ☆	20 ☆ 夏の土用の入り	21 ☆	22 ☆ 日の出 4:49 日の入 19:06
23 たいしょ 大暑	24	25 ★★	26 ★★	27	28 ☆	29 ☆
30 ☆	31 ★★ みずがめ座δ南流星群	1	2	3	4	5

★ 夜空をながめてみよう ★

■ にぎやかな夜空

7月は夕方の西の空に惑星たちが集まって賑やかな光景を見せてくれています。特に、7月20日前後の夕方の西天には、注目してみたいところです。

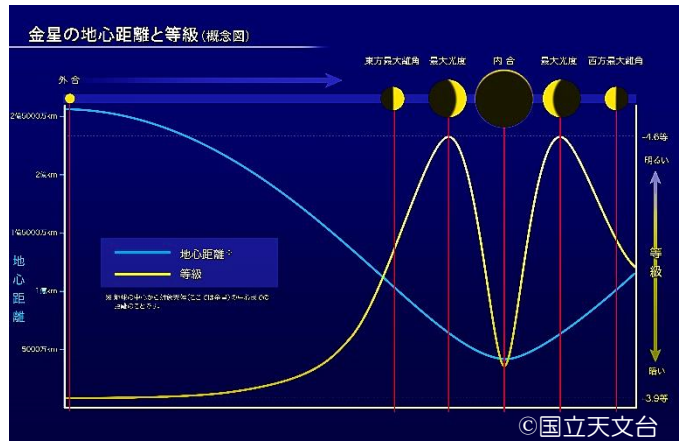


7月20日午後7時の空 ステラシアターに一部加筆

今月のトピックス

■ 金星が最大光度・・・7月7日(金)

年初から夕方の空の西天高く人目を引いていた金星が7月7日には最大光度(-4.7等)に達し、1等星の100倍以上の明るさで輝きます。これは昼間の青空の中でも肉眼で見つけられる明るさです。金星は、内合に近い三日月のように細くなる位置で見かけ上の表面積が最も大きくなって最大光度をむかえ、内合後の9月19日に再び最大光度となります。



とやま天文カレンダー

2023年

8月

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1 ★★	2 ★★	3 ★	4 ★★	5 ★★
<small>※過去10年間の富山市の午後9時の晴天率 ★★: 60%以上 ★: 40~50%</small>		夜、満月を 満月 見よう				
6 ★★	7 ★	8 ★ りっしゅう 立秋	9 ★★	10	11 ★ 山の日	12 ★
<small>日の出 5:00 日の入 18:53</small>	朝、西の空の 下弦 月を見よう					
13 ★ ペルセウス座流星群	14 ★★	15 ★	16	17	18 ★★	19 ★
<small>日の出 5:06 日の入 18:46</small>	夕方、西の空の 三日月 月を見よう					
20	21	22 旧七夕	23 ★ しよしよ 処暑	24	25 ★	26 ★
<small>日の出 5:12 日の入 18:37</small>	夕方、南の空の 上弦 月を見よう					
27	28 ★	29	30	31 ブルームーン	1	2
<small>日の出 5:18 日の入 18:28</small>	夜、満月を 満月 見よう					

★ 夜空をながめてみよう ★

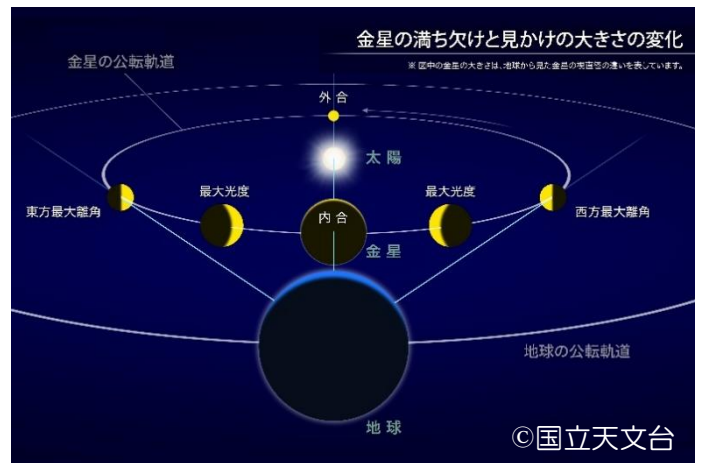
■ペルセウス座流星群…8月12日(土)~13日(日)
毎年活発な出現を見せてくれることでおなじみのペルセウス座流星群が、12日から13日ごろにかけてピークとなり、極大は13日の午後5時頃と予想されています。今年は、16日が新月なので月明の心配は全くなく、一晩中最良の条件で楽しむことができます。



8月13日午前3時の空 ステラシアターに一部加筆

今月のトピックス

■金星が内合…8月12日(土)
宵の明星金星が、8月12日に太陽と地球の間に入り込んで「内合」となります。これ以降は、明け方の東天に移り、明けの明星となって姿を見せることになります。



コラム 希少な満月

■ブルームーン…8月31日(木)
1か月に2回満月があるとき、2回目の満月をブルームーン (Blue Moon) と呼びます。ブルームーンは、数年に一度しか見ることができない希少な満月の一つです。次回は、2026年5月31日(日)です。

日	月	火	水	木	金	土
27 ※過去10年間の富山市の午後9時の晴天率 ☆☆:60%以上 ☆:40~50%	28	29	30	31	1 にひゃくとおか 二百十日 ☆	2 ☆
3 ☆	4	5 日の出 5:25 日の入 18:15	6	7	8 ☆ はくろ 白露	9 ☆
10	11 ☆	12 日の出 5:30 日の入 18:04	13 ☆	14	15 ☆ 新月	16 夕方、西の空の月を見よう
17 夕方、三日月	18 敬老の日	19 ☆ 日の出 5:36 日の入 17:54	20 ひがん 彼岸	21	22 夕方、南の空の月を見よう	23 ☆☆ 秋分の日 秋分 しゅうぶん
24 夕方、南の空の月を見よう	25	26 日の出 5:42 日の入 17:43	27 ☆	28	29 ☆ 中秋の名月 満月	30 夜、満月を見よう

★ 夜空をながめてみよう ★

■すばらしい星の輝き

宵の頭上には夏の大三角と天の川が見えています。季節の移り変わりは動きの遅い北の星空でも確実に進んでいて、北東の空には、秋のカシオペア座のW字形が高く昇り始め、北西の空には北斗七星がいよいよ低くなってきます。秋は長雨のシーズン中ですが、透明度のよくなった晴れ間から夏空では見られなかったすばらしい星の輝きを目にすることができるようになってきます。



9月15日午後8時の空 ステラシアターに一部加筆

今月のトピックス

■金星が最大光度…9月19日(火)

8月12日に内合になった金星は、明け方の東天にまわって明けの明星になって急速に高度を上げてきています。9月19日には最大光度となり、すばらしい輝きとなります。昼間の青天の中でも見つけられることでしょう。



9月19日午前4時の空 ステラシアターに一部加筆

■中秋の名月

秋分の日以前の一番近い新月の日を1日として、15日目を中秋としているので、今年は9月29日が中秋の名月です。

現代の暦では、1か月遅れの9月になることが多いですが、「閏月」が入るとさらに遅くなり中秋が10月になることもあります。また、1か月弱遅れの「後の月」は十三夜で、陽が落ちて迎りが暗くなりかける頃には、すでにほどよい高さまで月が昇っており、地上の景色と相まって月の印象がより深いです。

日	月	火	水	木	金	土
1 ☆	2 ★★	3 ★★	4	5 ★★	6 ☆	7 ★★
8 ☆ かんろ 寒露	9 ★★ スポーツの日	10	11	12	13 ★★	14 ☆
15 ☆	16	17 ★★	18 ☆	19 ☆	20 ☆	21 ☆ 秋の土用の入り
22 ☆ オリオン座流星群	23	24 ☆ 霜降	25 ☆	26 ★★	27 ★★	28 ★★
29 ☆ 部分月食	30 ☆	31 ★★	1	2	3 ☆ 文化の日	4

日の出 5:48
日の入 17:31

朝、西の空の 下弦 月を見よう

日の出 5:54
日の入 17:21

日の出 6:01
日の入 17:11

日の出 6:07
日の入 17:03

※過去 10 年間の富山市の午後9時の晴天率
★★: 60%以上 ☆: 40~50%

★ 夜空をながめてみよう ★

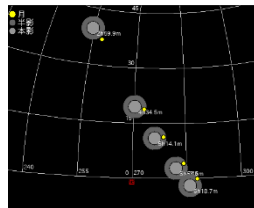
■月没前の部分月食・・・10月29日(日)

日暮れの早くなった秋の夜空では、夏の大三角などが人目を引きませんが、それも早いうちに西へと傾き、南の空は明るい星がなくさみしげな印象の秋の星座たちが出そろっています。明るい場所では、ほとんど星が見当たらないことさえあるかもしれません。

そんな中、夜明け前の西天に傾いた満月が地球の影の北側にわずかに入り込む部分月食が10月29日の月没前に見られます。月食の様子を詳しく観察するには、双眼鏡がおすすめです。スマートフォンのカメラも高性能なので簡単に撮影できます。

【富山での観測時刻】(西の空で観察)

半影食の始め	2時59分頃
部分食の始め	4時34分頃
食の最大	5時14分頃
部分食の終わり	5時53分頃
月入り	6時18分頃



©国立天文台

■金星が西方最大離角・・・10月24日(火)

6月に東方最大離角だった金星が、24日に西方最大離角となります。内惑星である金星は、西方最大離角の時、明け方の東の空に見えます。明けの明星として明るくすぐに見つけられます。

今月のトピックス

■オリオン座流星群極大・・・10月22日(日)

10月も後半になると、冬の星座のオリオン座が夜ふけの南の空高くかかるとなります。狩人オリオンの振りかざした棍棒の近くにある輻射点からオリオン座流星群の流星たちが飛び出します。極大は22日の午前9時頃と予想されています。上弦の月は夜半前に西の空に沈むので月明はなく好条件です。



10月22日午前4時の空 ステラシアターに一部加筆

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1 ★	2 ★★	3 ★ 文化の日 日の出 6:16 日の入 16:53	4 ★★ 朝、西の空の月を見よう
5 ★★ 朝、下弦 西の空の月を見よう	6	7 ★	8 ★ りっとう 立冬	9	10 ★ 日の出 6:23 日の入 16:47	11
12 ★★	13	14	15	16 ★	17 ★ 日の出 6:30 日の入 16:41	18 ★
19	20	21 ★	22 ★ しょうせつ 小雪	23 勤労感謝の日	24 日の出 6:37 日の入 16:38	25
26	27	28	29	30 ★	1	2

★ 夜空をながめてみよう ★

■ペガサスの大四辺形を見つけよう

南の中天には、ペガサスの大四辺形が星空を真四角に仕切るように見えています。明るい星の少ない秋の星空では、この四角形の各辺をあちこちに延長してたどると、見つけにくい秋の星座の位置や星の見当がつけられ便利です。宵の南の空には明るい木星と土星が少し離れて並んで輝いています。おかげでさみしい秋の星空がにぎやかに感じられます。



11月15日午後8時の空 ステラシアターに一部加筆

今月のトピックス

■3日(金) 木星、14日(火) 天王星が衝

宵の東の空でひとときわ輝く星が目にとまります。太陽系最大の惑星でおなじみの木星です。-2.9等という素晴らしい「夜半の明星」の呼び名にふさわしいといえるでしょう。表面の様子を楽しむには絶好のチャンスです。



また、天王星は、おひつじ座の尾の近くにおいて 5.7 等なので双眼鏡で簡単に見つけることができます。望遠鏡なら青緑がかった小さな丸みを帯びた円板像を見ることができます。



©国立天文台

8月に土星が衝を迎えたため、年の後半は望遠鏡で見て楽しめる惑星たちが見頃となっています。

コラム ガリレオ衛星

■木星の衛星を見てみよう

木星の衛星は、80個が見つっていますが、そのうちイオ、エウロパ、ガニメデ、カリストの4つの大型衛星は、ガリレオが発見したことから「ガリレオ衛星」と呼ばれています。

11月は、木星の観望の好機入りとなってきますので、ガリレオ衛星を小型望遠鏡や双眼鏡で観察してみてください。

日	月	火	水	木	金	土
26 ※過去10年間の富山市の午後9時の晴天率 ☆☆: 60%以上 ☆: 40~50%	27	28	29	30	1	2 ☆☆
3 日の出 6:46 日の入 16:35	4	5	6	7 たいせつ 大雪	8 ☆	9 ☆
10 ☆ 日の出 6:52 日の入 16:35	11	12	13	14 新月	15 ☆ ふたご座流星群	16
17 日の出 6:57 日の入 16:37	18	19	20	21	22 とうじ 冬至	23 ☆
24 日の出 7:01 日の入 16:40	25	26	27	28	29	30
31 おおみそか 大晦日 日の出 7:03 日の入 16:45	1 元日	2	3	4	5	6

★ 夜空をながめてみよう ★

■冬のダイヤモンドを見つけよう

12月は1年中で最も日没が早く日の出が遅いので夜の時間が長く、寒い時期ですが天体観測にとっては好都合といえます。

冬の代表的な星空として「冬の大三角」がありますが、冬の星空には「ダイヤモンド」も輝いているのを知っていますか。東の空に輝くカペラ、アルデバラン、リゲル、シリウス、プロキオン、ホルックスを結んでできる大きな六角形を見つけましょう。



12月20日午後8時の空 ステラシアターに一部加筆

今月のトピックス

■ふたご座流星群極大…12月15日(金)

近年は、夏のペルセウス座流星を上回る活発な活動を見せる「ふたご座流星群」は、15日の午前4時頃が極大と予想されています。今年は13日が新月なので、夜間に月明かりもないため、1時間あたり60個程度の流星が見られると期待も高まっています。明るい流星も多いので、市街地内でも見られます。



12月15日午後10時の空 ステラシアターに一部加筆

日	月	火	水	木	金	土
31	1 元日 日の出 7:03 日の入 16:45	2	3	4 しぶんぎ座流星群 朝、西の空の下弦月を見よう	5	6 しょうかん 小寒
7	8 成人の日 日の出 7:04 日の入 16:51	9	10	11 新月 夕方、西の空の月を見よう	12	13 三日月
14	15 日の出 7:03 日の入 16:58 夕方、西の空の月を見よう	16	17	18 冬の土用の入り 夕方、南の空の上弦月を見よう	19	20 たいかん 大寒
21 ★	22 日の出 7:00 日の入 17:05	23	24	25	26 夜、満月を見よう	27
28	29 日の出 6:56 日の入 17:13	30 ★	31	1	2	3

※過去 10 年間の富山市の午後9時の晴天率
★★: 60%以上 ★: 40~50%

★ 夜空をながめてみよう ★

■北の空の星の動き

地球は地軸を中心に自転しているため、地軸の先にある北極星は動いて見えません。逆に、北極星のまわりの星は、その北極星を中心に動いて見えます。カシオペヤ座と北斗七星に注目すると、右図のように北の空の星は、北極星を中心に、時計の針と反対向きに回っているように見えます。ちなみにその形は変わりません。また、1日24時間で1回転360°動くので、1時間で15°、4時間で60°北極星を中心に動くことになります。

スマートフォンのアプリを使えば、星の動きをくっきり写すことができます。



ステラシアターに一部加筆

今月のトピックス

■しぶんぎ座流星群極大・・・1月4日(木)

しぶんぎ座流星群は、1月にピークを迎える年間の三大流星群の一つです。流星群の名前に使われているしぶんぎ座は、現在では存在しない壁面四分儀座という星座に由来しています。一般的な出現時期は12月28日から1月12日頃で、流星数が比較的多く観察されるのは極大の前後1日程度です。今年は、4日午後6時頃にピークを迎えますが、この日は月明りと夕方のピークが重なり眼視観測は難しいと思われます。

コラム 冬の夜空は星がきれい

冬の空を見上げると、他の季節と比べて青く澄んでいてきれいに見えませんか。これはなぜかという、暖かい空気よりも冷たい空気の方が透明度が高くなるためです。暖かい空気ほどその中に多量の水分(湿気)を含みますが、空気が冷たくなるほど空気中の水分は少なくなる性質があります。夜も空気中の水分量が少ないため遮るものはありません。

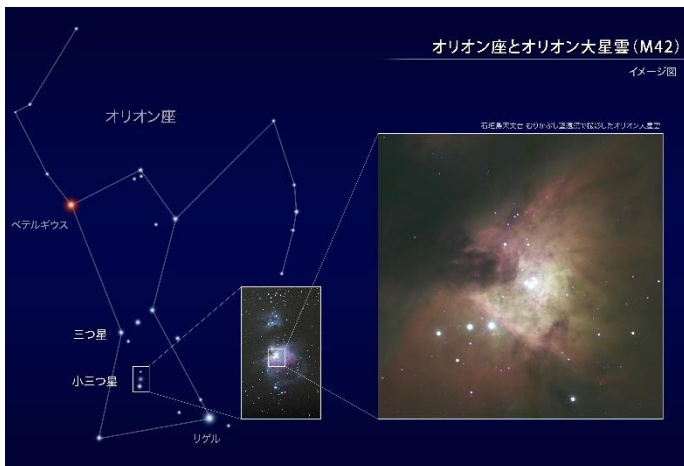
もう一つの理由は冬の星座のおかげです。冬の星座は数が多く、シリウス・プロキオン・カペラ・ベテルギウスなど、明るい星が多いという特徴があります。こうしたいくつかの小さな要因が折り重なって冬の夜空は星でいっぱいに見えるのです。

日	月	火	水	木	金	土
28 ※過去10年間の富山市の午後9時の晴天率 ★★: 60%以上 ★: 40~50%	29	30	31	1	2	3 せつぶん 節分 朝、西の空の月を見よう 下弦
4 りっしゅん 立春 朝、西の空の月を見よう	5	6 ★	7 日の出 6:49 日の入 17:22	8	9 ★	10 新月
11 ★ 建国記念の日 夕方、西の空の三日月 月を見よう	12 振替休日	13	14 日の出 6:41 日の入 17:30	16	16	17 夕方、南の空の月を見よう 上弦
18 夕方、南の空の月を見よう	19 うすい 雨水	20	21 日の出 6:33 日の入 17:37	22	23 ★ 天皇誕生日 夜、満月を見よう 満月	24 ★
25 夜、満月を見よう	26 ★	27	28 ★ 日の出 6:24 日の入 17:44	29	1	2

★ 夜空をながめてみよう ★

■オリオン大星雲を見つけよう

2月は、日の入り後1時間半ほどが過ぎ、空が完全に暗くなる頃にオリオン座が南の空の高い位置に見えます。月のない夜に街灯や建物の明かりなどが少ない場所でオリオン座を観察すると、小三つ星の真ん中の星は他の星のように点状ではなく、なんだかぼんやりとにじんだ感じに見えます。これは「オリオン大星雲」と呼ばれる巨大なガスの集まりです。肉眼では小さな雲のように見えるのですが、望遠鏡や双眼鏡で拡大すると、蝶や鳥が羽を広げたような複雑な形をしていることが分かります。



©国立天文台

コラム 彗星とはどんな天体

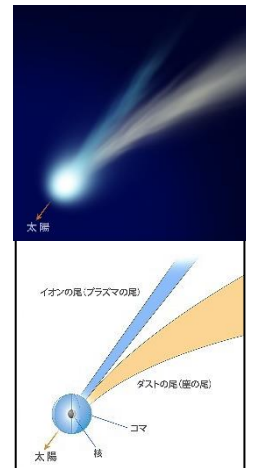
■彗星の姿とは

夜空にぼんやりと輝き、地球に近づくとほうきのような長い尾をひく彗星は、その姿から「ほうき星」とも呼ばれます。

彗星は、本体の大きさが数キロメートルから数十キロメートルのとても小さな天体です。成分は、そのおよそ8割が水（氷の状態）で、二酸化炭素、一酸化炭素、その他のガス、微量の塵から成ります。

彗星は、太陽に近づくと、その熱で彗星本体の表面が少しずつとけて崩壊します。そのときに本体の氷が蒸発し、ガスと塵も一緒に表面から放出されます。その結果、彗星の本体がぼんやりとした淡い光に包まれるように輝いて見えます。これを「コマ」と呼びます。さらに、本体から放出されたガスと塵がほうきのように見える「尾」を作ります。彗星のコマや尾が目立って観測され始めるのは、彗星が太陽からおおよそ1天文単位前後、つまり地球の軌道程度まで近づいてからです。

彗星が太陽に近づくとほど本体から放出されるガスや塵の量が多くなるため、コマは明るくなり、尾も明るく長く伸びます。



©国立天文台

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	1	2 ★★
3 ★★	4 ★	5 ★ けいちつ 啓蟄	6	7 ★	8 ★	9
朝、西の空の  月を見よう				日の出 6:13 日の入 17:51		
10	11	12 ★★	13	14 ★	15	16 ★
夕方、西の空の  月を見よう				日の出 6:03 日の入 17:58		夕方、南の空の月を見よう
17 ★★ ひが 彼岸	18	19	20 春分の日 しゅんぶん 春分	21 ★	22	23 ★
夕方、  南の空の月を見よう				日の出 5:53 日の入 18:04		
24 ★★	25 ★	26 ★★	27 ★	28 ★★	29 ★	30 ★
夜、満月を  見よう				日の出 5:43 日の入 18:10		
31	1	2	3	4	5	6

※過去10年間の富山市の午後9時の晴天率
★★: 60%以上 ★: 40~50%

★ 夜空をながめてみよう ★

■春の大三角

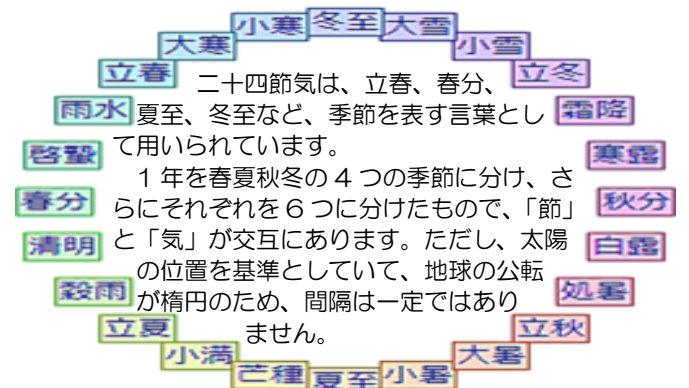
日暮れの西の空には、大きく傾いた冬の星座が去ろうとしています。入れ代わりに東の空に姿を見せ始めるのは春の星座たちです。うしかい座のアークトゥルスを目印に、しし座、おとめ座でつくる春の大三角が見つかることでしょう。3月20日は春分の日です。法律では「自然をたたえ、生物をいつくしむ日」ですが、星からも春を感じてみるのはいかがでしょうか。



3月20日午後8時頃の空 ステラシアターに一部加筆

コラム 二十四節気

■啓蟄…3月5日(火)



3月5日は二十四節気の一つ、啓蟄です。「啓」は「開く」、「蟄」は「虫などが土中に隠れ閉じこもる」という意味があるので、「啓蟄」で「冬に土中にこもっていた虫が出てくる」ということを表します。大地が温まり冬眠をしていた虫が穴から出てくるとイメージしやすいですね。まだまだ気温は高くないかもしれませんが、天気の良い日、足元の動植物に目を向けてみてください。小さな変化があるかもしれませんね。